

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)TRIAL鳥取大代店 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								2.5
Q1 室内環境					0.40		-	2.4
1 音環境				1.8	0.15		-	1.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				1.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				1.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能					-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 温熱環境				1.6	0.35		-	1.6
2.1 室温制御				1.0	0.50		-	
1 室温				1.0	0.50		-	
2 外皮性能				1.0	0.17		-	
3 ゾーン別制御性				1.0	0.33		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				3.0	0.25		-	3.0
3.1 屋光利用				3.0	0.50		-	
1 屋光率					-		-	
2 方位別開口					-		-	
3 屋光利用設備				3.0	1.00		-	
3.2 グレア対策					-		-	
1 屋光制御					-		-	
3.3 照度					-		-	
3.4 照明制御				3.0	0.50		-	
4 空気質環境				3.5	0.25		-	3.5
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		使用する建築材料は全てF☆☆☆☆とする。		4.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.50		-	
2 自然換気性能					-		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50		-	
4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-	
Q2 サービス環境				-	0.30		-	3.0
1 機能性				2.9	0.40		-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性					-		-	
2 高度情報通信設備対応					-		-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30		-	
1 広さ感・景観		売場平均天井高: 5.59m		5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-	
3 内装計画				1.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.6	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-	
3 電気設備				3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30		-	3.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高:5.261m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.08	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			2.6	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		1.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.72	4.6	0.50		-	4.6
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	節水コマ・泡沫・自動水栓・センサー方式(小便器)	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地: ・躯体と仕上げ材が容易に分別可能 ・内装材と設備が錯綜せず、容易に取り外し可能	5.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20		-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	グラスウール	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=76%	3.9	0.33		-	3.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2.1	大気汚染防止	燃焼機器の使用なし(電気温水器)	5.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.3	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	行政指導なし:敷地内処理	-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	I 1) 駐輪スペースの設置 II 1) 駐車スペースの確保 2) 管理車両や荷捌き車両の駐車スペース確保 II 3) 駐車場導入路への配慮	4.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		3.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外照明:「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす 広告物照明:「光害対策ガイドライン」のチェックリストの過半を満たす	1.0	0.70		-	
2	日光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	